

新刊案内

貸出し中の本は予約することができます。
HP・お電話でもできますので、詳しくは
カウンターまでおたずねください。

新刊コーナーにあるよ。

『人生が変わるゲームのつくりかた』

米光 一成/著 筑摩書房 [Y798 ヨ]

ゲームづくりの核は「場を楽しくするルール」を生み出すこと。ゲームづくりを学ぶと、自分の周りのルールを楽しくなるためのルールに変えていくことができるようになります。人気ゲームの開発者が、ゲームのつくりかたをイチから解説。「ゲームのおもしろさを生み出すメカニクス」なども紹介します。

『森と、母と、わたしの一週間』

八束 澄子/著 ポプラ社 [Y913 ヤ]

実家に残ったまま帰らぬ母。父とのなれないふたり暮らし。このところ、友だちともうまく距離をはかれない。そんなとき、風によばれた。行こう。あの町へ…。毎日なんとなく息苦しいと感じる人へエールをおくる物語。

『はなしをきいて』

マギー・ホーン/著 理論社 [Y933 ホ]

あたしは、ミドルスクール2年生のヘイゼル。今年のスピーチコンテストは、ぜったい負けられない!あたしにとって宿敵は、昨年の優勝者エラ・クイン。学校じゅうの人気者エラと、地味で友だちがいないあたしは、ほとんど接点がなかった。だけど、ある出来事をきっかけに、あたしたちは急接近しはじめ…。

【実用書】

- 『ネットでいじめられたら、どうすればいいの?』 春名 風花/著 河出書房新社 [Y371 ハ]
『10代からの文章レッスン』 小沼 理/編著 河出書房新社 [Y816 オ]
『わたしはわたし。あなたじゃない。』 鴻巣 麻里香/著 リトルモア [Y371 コ]

【文芸書】

- 『きみとの明日を消したい理由』 櫻 いいよ/著 KADOKAWA [Y913 サ]
『くちを失くした蝶』 星田 英利/著 KADOKAWA [Y913 ホ]
『時計島に願いを』 メグ・シェイファー/著 東京創元社 [Y933 シ]

*大竹市立図書館のホームページの中にティーンズコーナーがあります。
勉強や悩みにも役立つリンク等もあるのでのぞいてみてね。



大竹市立図書館ティーンズ便り第35号

〒739-0605 大竹市立戸1丁目6-1 ☎ 0827-52-5338



■利用案内

- ・開館時間 10:00~18:00 (火~土) / 9:00~17:00 (日)
- ・個人貸出 図書1人10冊 (内DVD・CD資料2点)
- ・貸出期間 2週間
- ・休館日 月曜日 (祝日の時は翌日も)・祝日・年末年始・特別整理期間
毎月末 (ただし、土・日・月・祝の時は直前の金曜日)

ホームページアドレス (蔵書検索もできます) <http://www.tosho.otake.hiroshima.jp/>

スマートフォンをお持ちの方は
こちらのQRコードからもホーム
ページにアクセスできます。



大竹市立図書館には、ティーンズ
コーナーがあるのを知っています
か?ティーンズコーナーでは、テ
ィーンズ向けの本の展示をしてい
ます。春・夏・秋・冬の年4回、入
替えているのでチェックしてみ
てください。

☆『冬』(12・1・2月の展示)

テーマは、

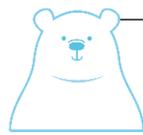
入試でお目にかかる作品

入試対策のみならず、読書感想文にもおすすめです。

1冊紹介♪

『島はぼくらと』 辻村 深月/著 講談社 [Y913 シ]

瀬戸内海の小さな島、冴島。朱里、衣花、源樹、新の4人は島に高校がないため、フェリーで本土に通う。未婚の母の涙、Iターン青年の後悔、そして自らの淡い恋心…。17歳、ともに過ごす最後の季節を描く。



展示本リスト

* []は図書館の請求記号です。

『教室に並んだ背表紙』

相沢 沙呼/著 集英社

[Y913 ア]

わたしは欠陥品なのかもしれない。中学校の“図書室”を舞台に、ままならない思春期の友人関係や未来への漠然とした不安、揺れる心模様を繊細に描く、全6編の連作短編集。

『卵の緒』 瀬尾 まいこ/著

マガジンハウス [913 ヒ]

捨て子だと思っている小学校4年生の育生、妙ちきりんな母親、そのとぼけたボーイフレンド、不登校の同級生、血の繋がらない親子を軸に、「家族」を軽やかなタッチで描く。

『よろこびの歌』

宮下 奈都/著 実業之日本社

[Y913 ミ]

玲は著名なヴァイオリニストを母に持ち、声楽を志していたが、音大附属高校の受験に失敗、新設女子高の普通科に進む。挫折感とコンプレックスから抜け出せない玲。しかし、校内合唱コンクールを機に玲の心に変化が生まれる…。

『ミーナの行進』

小川 洋子/著

中央公論新社 [913 枳]

美しく、か弱くて、本を愛するミーナ。あなたとの思い出は、損なわれることがない。懐かしい時代に芦屋の屋敷で生まれた、ふたりの少女と家族の物語。

『君たちは今が世界(すべて)』

朝比奈 あすか/著

KADOKAWA [Y913 ア]

6年3組の調理実習中に起きた洗剤混入事件。犯人が名乗りでない中、担任が放った「皆さんは、たいした大人にはなれない」という残酷な言葉は、教室に小さな波紋を投げかけ…。

『桐島、部活やめるってよ』

朝井 リョウ/著

集英社 [913 ア]

バレー部のキャプテン桐島が、突然部活をやめた。それがきっかけで、同じ高校に通う5人の生活に、小さな波紋が広がり…。野球部、バレー部、映画部といった部活をキーワードに、至るところでリンクする5人の物語。

『つながりの蔵』

椰月 美智子/著 KADOKAWA

[913 ヤ]

幽霊屋敷という噂の、古い蔵がある四葉の家で、遼子と美音は放課後よく遊ぶようになった。小学校5年生の少女たちは、それぞれの心に“哀しみ”を抱えていて…。

『夜のピクニック』

思田 陸/著 新潮社

[Y913 枳]

高校最後のイベントに賭けた一つの願い。あの一夜の出来事は、紛れもない「奇跡」だった、とわたしは思う。ノスタルジーの魔術師が贈る、永遠普通の青春小説。

『猫を抱いて象と泳ぐ』

小川 洋子/著 文藝春秋

[913 枳]

廃バスに住む巨漢のマスターに手ほどきを受け、チェスの大海原に乗り出した孤独な少年。彼の棋譜は詩のように美しいが、その姿を見た者はいない。なぜなら…。天才チェスプレイヤーの奇跡の物語。

『機関車先生』

伊集院 静/著 講談社

[913 イ]

瀬戸内海の小島の小学校に代用教員としてやってきた吉岡先生は、幼児の時の病気で口がきけなかった。持ち前の心の広さで生徒たちの信頼を得るがおとなたちは心を許さない。島は先生の母の故郷でもあった。吉岡先生の大活躍が始まる。

『くちびるに歌を』

中田 永一/著 小学館

[Y913 ナ]

中学合唱部顧問の松山先生は産休に入るため、元神童の美しすぎる臨時教員・柏木に期限付きで指導を依頼。すると、柏木目当て男子が多数入部する。ほどなくして、練習に打ち込まない男子部員と女子部員の対立が激化して…。

『猫にならって』

佐川 光晴/著 実業之日本社

[Y913 サ]

病気で臥せっている小学生・芳子の部屋で子猫が4匹生まれた。芳子は小さな子猫チビのことが気がかりで…。「ミー子のおしえ」など、厳しくもあたたかく猫と人を描く全8篇の珠玉の連作短編集。

他にもこんな本があります♪

* 『一瞬の風になれ 1』

* 『海』

* 『家族の見える場所』

佐藤 多佳子/著 [Y913 サ]

小川 洋子/著 新潮社 [913 枳]

森 浩美/著 双葉社 [913 モ]

* 『そして、バトンは渡された』

* 『人間タワー』

* 『ぼくのボールが君に届けば』

瀬尾 まいこ/著 偕成社 [Y913 セ]

朝比奈 あすか/著 文藝春秋 [913 ア]

伊集院 静/著 講談社 [913 イ]

